

## ロシア

### 2010年のロシア経済の概況

2010年のロシア経済は、基本的には順調であった。実質GDP成長率は前年比4.0%となり、前年の大幅な落ち込み(▲7.9%)から回復した。この成長は、内外の要因によって支えられている。まず、輸出の大幅増があった。輸出の寄与度は3.1%であった。経済発展省の推計では、2010年の輸出は3,980億ドル(対前年比31.2%増)にまで回復し、過去最高の2008年には及ばないものの、過去2番目の水準となった。その背景として、主な輸出品である石油・天然ガスの輸出が好調であったことがある。ロシア産原油の指標銘柄である「ウラル」の年平均価格は1バレルあたり78.2ドルとなり、前年の59.6ドルを大きく上回った。輸出货量自体は微減(▲0.3%)であったが、輸出額は33.8%増加した。天然ガスは輸用量が3.5%増加しており、その価格は基本的に原油価格に追随して決定されることから、金額ベースでも大幅に増加しているものと思われる。

内需面では、消費、投資とも拡大した。ただし、同時に輸入が大幅に伸びており、需要の海外流出の構図が明らかになっている。輸入総額は2,488億ドル(対前年比29.7%増)と推計されている。消費財や資本財など様々な品目で増加しているが、特に目立つのは「機械・設備・輸送手段」が40.0%もの大幅増を示していることである。この中には、自動車などの耐久消費財も含まれるが、かなりの部分が資本財である。老朽化した生産性の低い生産設備の更新投資は、政府が進める経済の近代化にとって重要なステップであるが、そのために外国からの資本財の輸入が増えるというジレンマに陥っている。

ロシアの政策当局が描いているシナリオは、当面は資源輸出で稼いだ外貨で生産設備等を輸入して製造業の近代化を進めるものの、そのプロセスの進展に伴い、徐々に資本財の輸入依存を減らしていくというものである。しかしながら、今世紀に入って資源輸出を梃子にロシアが経済成長

路線に乗ったところから、この構造は変わっておらず、約10年続いている。これは、この間に導入した外国からの設備等が国内企業の競争力向上につながっていないことを意味している。これに対する処方箋は見つかっておらず、いつになったらこの状況から脱出できるのか、見通すことは難しい。他方、外国企業の立場から見れば、この構造が残る限り、原油価格が上がってロシアの輸出収入が増えることは、ロシア市場の拡大につながるともいえる。

### 2011年の見通し

経済発展省は、2010年9月に発表した2011年～2013年の中期経済見通しにおける予測値の再計算を行った(2010年12月17日発表)。2011年の成長率は、当初見通しと同じ4.2%としている。前提とした原油輸出価格を81ドルへと引き上げたことにより、輸出総額は4,143億ドルへと上方修正した。輸入は、輸出を上回る伸びを示して、2,862億ドルに達する。こうした中、消費者物価上昇率は過去2年と同水準の8.8%と予測しており、目に見える形でのインフレ抑制は先送りとなりそうだ。

このほか、IMFは2011年のロシアの経済成長率を4.5%と予測している。また、「ロスビジネスコンサルティング社」が様々な金融機関等の予測値をベースに取りまとめている「コンセンサス予測」(2月3日発表)によれば、経済成長率は4.3%となっている。貿易額やインフレ率なども経済発展省の予測とほぼ同じ水準である。

留意すべきは、ロシア経済が原油価格に大きく左右される構造を持っているという点である。北アフリカ、中東情勢の流動化により世界的に原油価格が上昇する中、「ウラル」も113ドルにまで上昇している(3月5日現在)。年間を通じて原油価格が高値で推移するようであれば、経済成長率を押し上げる要因となる。長期的には上述の構造改革を遅らせることになりかねないが、短期的には投資や消費が活発化するだろう。

(ERINA調査研究部研究主任 新井洋史)

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	(対前年同期比)				(対前年同期比)		
							2010 (四半期)				2010 (月次)		
							1Q	2Q	3Q	4Q	10月	11月	12月
実質GDP	6.4	7.7	8.1	5.6	▲7.9	4.0	3.1	5.2	2.7	—	—	—	—
固定資本投資	10.9	16.7	21.1	9.8	▲16.2	6.0	▲4.1	5.3	7.2	9.8	10.7	8.4	10.1
鉱工業生産高	5.1	6.3	6.3	2.1	▲10.8	8.2	9.5	10.9	6.4	6.5	6.6	6.7	6.3
小売売上高	12.8	14.1	16.1	13.5	▲4.9	4.4	1.8	5.4	6.0	4.1	4.5	4.6	3.4
実質可処分所得	12.4	13.5	12.1	1.9	2.3	4.3	7.4	3.6	4.4	2.4	0.2	3.1	3.3
消費者物価*	10.9	9.0	11.9	13.3	8.8	8.8	3.2	4.4	6.2	8.8	6.8	7.6	8.8
工業生産者物価*	13.4	10.4	25.1	▲7.0	13.9	16.7	2.7	5.5	8.2	16.7	10.7	15.5	16.7
輸出額 (十億ドル)	243.8	303.6	354.4	471.6	303.4	—	92.2	97.4	97.7	—	35.0	35.3	—
輸入額 (十億ドル)	125.4	164.3	223.5	291.9	191.8	—	45.7	58.2	68.6	—	24.5	24.5	—

\*前年12月比。

\*\*斜体は暫定(推計)値

出所:『ロシアの社会経済情勢(2010年12月号)』ほか、ロシア連邦国家統計庁発行統計資料